

国臨協新潟地区会会報

朱鷺つと

2015年8月発行
第74号

発行者：菅 孝（西新潟中央）
編集委員：山田 大助（新潟）
：内藤 真由美（西新潟中央）
：島田 朋幸（さいがた）



佐渡汽船高速カーフェリー あかね（撮影：西新潟中央病院 菅技師長）

会長挨拶

国臨協新潟地区会 会長
NHO西新潟中央病院
臨床検査科
技師長 菅 孝



地区会会員の皆様には益々ご健勝でご活躍のことお喜び申し上げます。水島前会長の転勤に伴いまして新潟地区会会長を拝命いたしました菅です。宜しくお願いいたします。

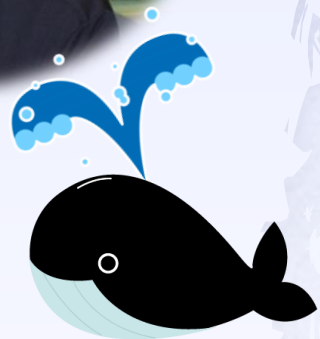
本年4月にさいがた医療センターより配置換えとなりました。西新潟での勤務は3回目となります。始めは昭和56年国立療養所西新潟病院、次が平成16年西新潟中央病院です。

それから今回、施設（7階建て）も検査科スタッフも随分と変わり、全く新しい病院といった感じです。（超懐かしい顔も何人か・・・）

さて、新潟地区会も今年度、新たな会員を迎え、交流会を皮切りに本格的に活動がスタートいたしました。地区会報『朱鷺つと』も発行回数を重ね、益々充実してまいりました。

桑村前々会長、水島前会長よりのたつての願いで、今年は絶対に地区会コーナーでのポスター優勝をと、理事を筆頭に会員全員で取り組んでまいりたいと思います。万年2位から脱出しましょう。ご協力をお願いします。

今後は秋に予定されています地区会定期総会・研修会まで、皆様にお目にかかれませんが、各施設、連絡・情報交換を密にして、新潟地区会を盛り上げていきたいと思っています。会員の皆様のご協力・ご支援を切にお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

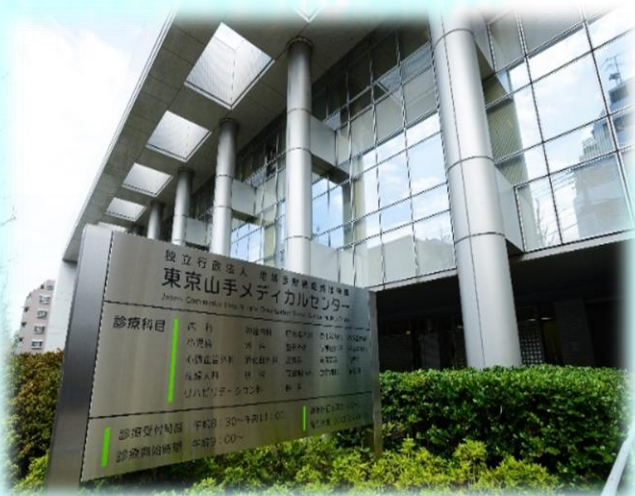


退任挨拶



独立行政法人 地域医療機能推進機構
東京山手メディカルセンター
臨床検査部
技師長 水島 美津子

7月のきらきら光る日本海、寺泊あたりで夕日に染まる水平線を横目に見ながら、車窓からの潮風を受け西新潟から直江津まで車を走らせたことが、今では懐かしく思い出されます。新潟地区会の皆様や、お世話になりました西新潟中央病院の皆様の笑顔を思い出すたびに、新潟が恋しくなります。



この度、4月1日付けを持ちまして国立病院機構とは離れ、同じ厚労省傘下の独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）東京山手メディカルセンター（旧社会保険中央総合病院）へ異動（出向）になりました。当施設はJR新大久保駅から徒歩5分、副都心新宿にあります。韓国ブームに沸いた繁華街から少し離れ、比較的緑の多い高層住宅街の中に有り、周囲には小中高や大学も多く点在し、都心にしては静かな環境と広い敷地に恵まれた施設です。病床数418床、1日当たりの外来数1100人以上、人工透析45床、20を超える診療科目（標榜22科）の中には大腸肛門疾患と炎症性腸疾患は全国的に知られており、消化器、循環器、呼吸器領域は内科と外科が揃い、整形外科、脊椎外科も充実した幅広い専門医療を提供しています。地下2階、地上8階で、最上階の病棟から見る新宿高層ビル街の夜景は実に見事です。敷地内には3年制付属看護学校も併設されています。

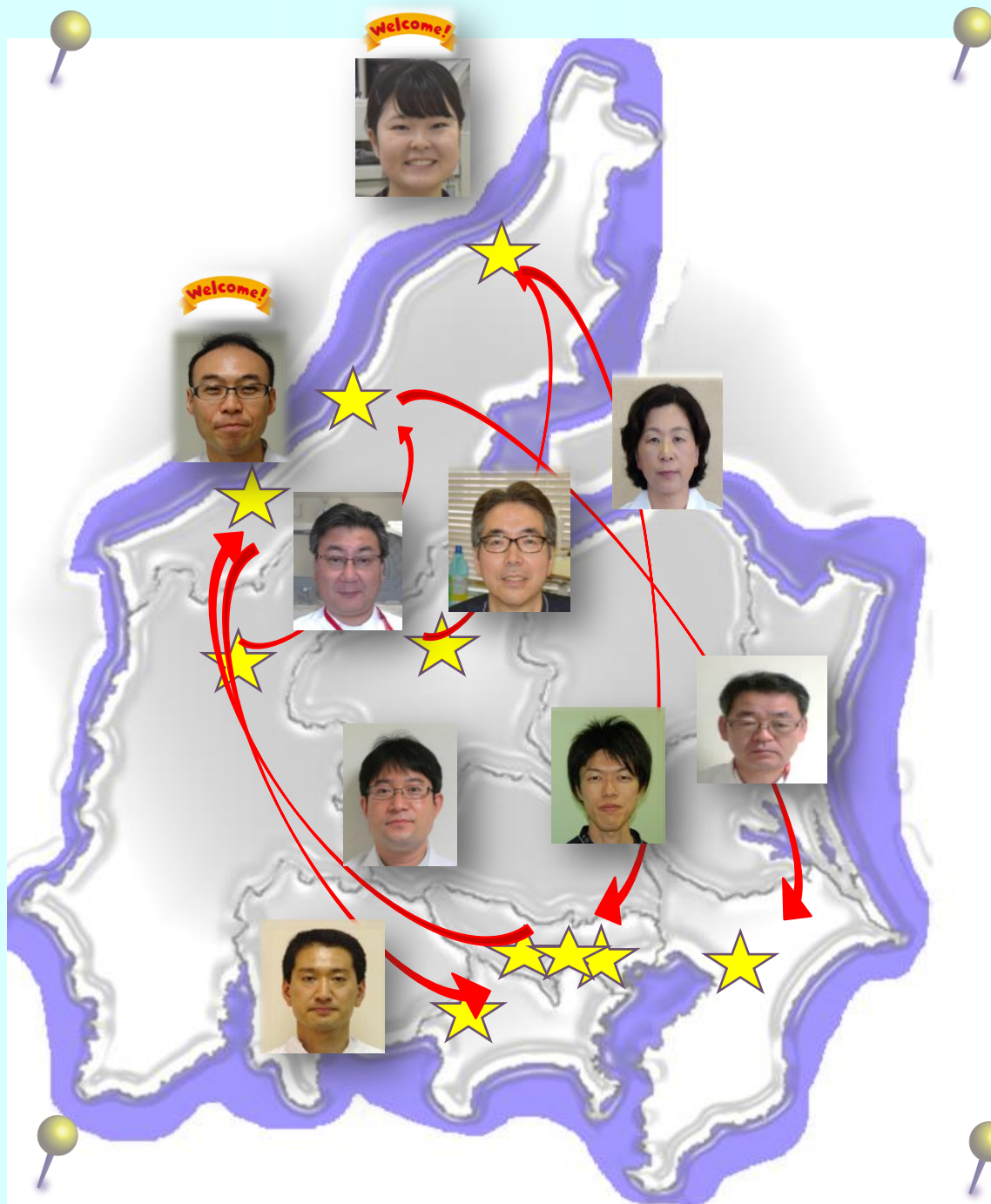


臨床検査部は技師38名、事務職1名で、小職を含め総勢40名の大所帯です。半数以上が各種認定資格を取得しており、高質で確実な技術と知識を持ち、一人ひとりが多忙な業務の中でも丁寧な対応を心掛けるスタッフ達です。またNHOとは異なり健康管理センターがあり、1泊ドック、半日ドック、協会けんぽ健診、2次健診、特定健診など年間約25,000人の健診を行っています。技師には健康管理センターと併任の辞令が発令されており、各自専従の検査業務のほか、外来と健管センターの採血業務を月間9,000人以上、さらにエコー検査、心電図、聴力、スパイロ、眼底検査などの健診業務を分担しています。夜間当直も行い、9月からは完全二交代制の予定です。このように周囲の環境や業務もこれまでとは大きく異なりますが、大勢の人たちに助けられ日々奮闘しております。



新潟地区会では3年間活動に参加させて頂きましたが、地区会長の任期半ばで新潟を去ることになり、皆様には大変ご迷惑をお掛けしました。地区会活動がこれからも会員皆様のお力で継続されますことを祈念し、益々のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

新潟地区会人事異動地図



新しく新潟にこられた皆さん！！
おいしい海の幸、またお米を堪能してください。
そして新潟地区発展のために各施設がんばっていきま
しょう。
転出された皆さんは太平洋側に異動になりましたね。
遠いですが、今後とも交流を深めていきたいですね！
雪が恋しくなったらいつでも新潟に！！



新潟地区会人事異動挨拶

転入者挨拶

ようきになった！



NHO新潟病院
臨床検査科

技師長 齊間 理

この度4月1日付けでNHO東長野病院より昇任で参りました齊間です。出身は長野県千曲市で「戸倉上山田温泉」と「森の杏」が昔からの名所名物がある所です。

又、今春に長野市にある善光寺が、七年に一回の「御開帳」もありました。ちなみに来春に諏訪地方で七年に一回行われる「奇祭！御柱祭」がありますので、是非ドライブにお越し下さい。

新潟県は子供の頃から海水浴や海の幸を食べに来る機会が多く有り、とても親しみのある土地です。又、新潟地区会へは5年前になりますが「さいがた医療センター」に副技師長として赴任しておりましたので2回目のお世話になります。今回も単身赴任ですが、仕事は元より、お酒もお肴も美味しいので健康に注意し、楽しみながら頑張りたいと思います。

検査科スタッフは幸いにして当時から知っている顔ぶれも居り、とても心強く感じております。当院は元々慢性期疾患が主な医療ですが、昨年7月1日に新棟「こどもとおとなの医療センター」を開設し、急性期から慢性期まで地域医療の中核病院としての役割を担っており、とてもやりがいのある施設です。

今回は職場長として赴任しましたが、まだまだ手探りですがスタッフに何を還元できるか自問自答しているところです。好きな言葉に「窮すれば通ず」があります。意味は「行き詰まって苦しんでいると返って切り抜ける方法が見付かるものだ」ということです。何とかなさ、常に前向きで行こうと思います。

どうぞ宜しくお願いします。



4月1日付けで東京医療センターより昇任でまいりました山崎です。「さいがた」はその昔、私が臨床検査技師となって一番初めに就職した施設です。3年ほど勤めたあと千葉県内の病院に異動となり、その後は関東圏内を転々として約25年ぶりに戻ってきました。多く皆さんには「はじめまして！」ですが、「おっ、生きていたの？」と懐かしんで下さる先輩方も居られると思います。これから地区会の行事等を通して、多くの方とお会いできれば嬉しいです。

趣味ですが、若いころは野球やスキーが大好きな運動人間だったのですが、今は体も徐々に動かなくなり無難に読書となっています。いろいろ読みますがミステリーや刑事物など気軽に読める娯楽作品、作家としては特に福○雅治の“ガリレオ”で有名な東野圭吾や菅田哲也、堂場舜一あたりが好きです。実は就職するまで漫画オンリーだったのですが、新人当時の主任から「読め！」と無理やり渡された『人間の條件』という分厚い本を、丸一年かかって読んだことがきっかけで急に文字に目覚め、今に至っています。若い皆さん、読書ってイイですよ！読んでいますか？

現在、こちらに来て3か月半過ぎましたが、未だに仕事にタイムマシンで昔に戻ったような不思議な感覚になることがあります。一転、部門長という重い立場になりましたが、この機会にあの頃の気持ちに帰り、微力ながら一歩でも検査科を前進させて患者さんのため貢献したいと思っています。

最後になりましたが、今後、新潟地区会の発展のため少しずつ関わって行きたいと思っていますので、当院のスタッフ共々お付き合いの程よろしくお願いいたします。



NHOさいがた医療センター
臨床検査科

技師長 山崎 正明



NHO西新潟中央病院
臨床検査科

主任 川上 喜久

この度4月1日付けで西群馬病院から西新潟中央病院に配置換えで参りました川上です。よろしくお願い致します。西新潟中央病院は5年前まで12年間お世話になった施設で、知っている方も多く心強く思っております。とはいえ5年の間に立派な新病棟ができ、電子カルテも導入され、病院は大きく様変わりされており、新たな気持ちで業務に臨みたいと考えております。

西群馬病院では平成28年度の新病院開院に向けて、検査室の設計や機器およびシステムの選定など貴重な経験をさせて頂きました。また、平成26年2月の関東での大雪では、新潟出身の私でも驚くくらいの雪が降り、検査科スタッフが誰も出勤できない中、宿舎にいた私一人で業務に当たったことなどが思い出されます。

新潟地区会の活動は非常に活発ではありますが、地区会の益々の発展に少しでも寄与できればと思っております。今後ともよろしくお願い致します。



この度、1月1日より非常勤職員として、4月1日より常勤職員としてさいがた医療センターに採用となりました石塚浩章と申します。現職は臨床工学技士として、臨床検査業務併任となります。

今から16年前の平成11年4月より旧名称の国立療養所犀潟病院の時代に賃金職員として採用され、3年間お世話になりました。その後しばらく臨床検査業務から離れ、新潟からも離れていましたが、3年前に厚生連上越総合病院にて臨床検査業務に復帰し、今回縁あって再びさいがた医療センターに勤務することになりました。

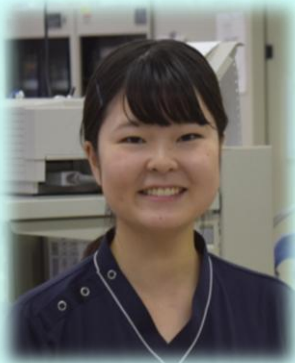
臨床検査業務としては主に病理部門を担当しています。以前の勤務時も3年間病理部門を担当していましたが、13年間というブランク、そして今まで担当していた古賀主任、五十嵐技術員がいなくなり心細いところに病理医が不在となりさらに不安な日々が続いておりますが、技術を低下させないように日々精進して参りたいと思っております。

最後になりますが、再び国臨協新潟地区会に参加させていただきありがとうございます。これからも地区会の発展に少しでも貢献できるよう頑張りたいと思いますので、皆様よろしくお願い致します。



NHOさいがた医療センター

臨床研究部 石塚 浩章



NHO西新潟中央病院
臨床検査科

技師 津川 志保

西新潟中央病院の津川志保です。

4月から検体検査部門で勤務しています。まだまだ勉強と経験不足でわからないことだらけですが、日々検体検査・臨床検査の重要性を感じ、臨床検査技師としての仕事のやりがいを感じています。また、ルーチンワークや採血など日々少しずつですができることも増え、充実した毎日を過ごしています。

理想の臨床検査技師像は、まずは固定観念にとらわれず広く多くの分野の知識と技術を持ったジェネラリストです。それを経て自分の興味のある部門を見つけて、プロフェッショナルを目指していきたいです。個人的には微生物学が好きなので、今は細菌検査に興味があります。また、てんかんの最先端である西新潟中央病院で勤務できる間に脳波検査やMEGなどの生理検査を少しでも学ぶことができれば、とも思っています。

これからも国家試験に合格したときの嬉しい気持ちや臨床検査技師として働ける喜びを忘れず、地域の皆さんの健康のために努力していきます。ぜひ先輩方のご指導ご鞭撻を賜りながら成長していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

転出者挨拶



そせばまたね！

4月1日付で下総精神医療センターに異動することになりました。新潟地区会には2012年から3年間お世話になりました。赴任時より地区会会長も引き継ぎ会員の方には交流会、地区会会報誌作成、定期総会・研修会開催など地区会活動にご協力いただき感謝申し上げます。

新潟県といえば豪雪のイメージが強く柏崎での生活も雪に苦労するのかなど不安でしたが思っていたほど積雪量が少なかった印象です。春の花見（関東から赴任すると桜が2度観れます）夏は柏崎港での海上花火大会、閻魔市、秋は赤坂山の紅葉（ライトアップされとてもきれいです）冬の到来を知らせる雪起こしが始まると病院正面の米山が白化粧を始めます。四季折々に、食べて、飲んで、覧て、それぞれを楽しみ過ぎてしまえばあつと言う間の3年間でした。新潟地区は3施設、会員数も多くありますが少数精鋭で地区会活動を盛り上げ、また関信支部地区会コーナーのポスター優勝を目指し頑張っておりました。新潟地区会の益々の発展と会員皆様のご健康とご多幸を祈念し挨拶とさせていただきます。



NHO下総精神医療センター
研究検査科

技師長 桑村 良隆

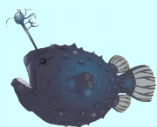
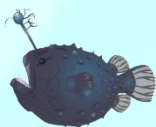


NHO横浜医療センター
臨床検査科

主任 古賀 裕

この度、平成27年4月1日付けをもちまして横浜医療センターに異動となりました。新潟地区会では、3年間大変お世話になりました。今年から理事を務めることとなりましたが、わずか3か月という短さで退任してしまうことに心苦しさを感じております。会報誌「朱鷺つと」を編集することが最初で最後の仕事になってしまいました。初めての雪国の生活で、ある方から「一冬を超えられれば大丈夫だよ」とアドバイスを頂きました。今、考えれば確かにとても納得しております。特に、赴任して1年目は戸惑いながら仕事と生活をしておりました。その中で多くの方に助けてもらいながら過ごしてきたことに非常に感謝しております。私にとって新潟地区会での3年間は有意義で非常に勉強になりました。今後も初心を忘れず業務に励んでいきたいと思っております。

最後に新潟地区会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



この度4月1日付けを持ちまして国立成育医療研究センターへ異動となりました。新採用から4年間、新潟地区会の一員として活動させていただき、皆様には大変お世話になりました。地区会の総会や懇親会、浜辺のバーベキューといろいろ参加できたことを感謝申し上げます。

生まれも育ちも新潟である私ですが、これから県外に出る生活になります。西新潟中央病院では近くにアパートを借りていたので徒歩10分圏内と通勤にあんまり縁がありませんでした。4月からは満員電車とバスを乗り継ぎ片道1時間弱の通勤となり、これが都会の通勤だと実感する今日この頃です。都会の生活に飲まれず新潟の心を大事に思って、今後も精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、新潟地区会の益々の発展と会員皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますご挨拶とさせていただきます。本当に有難うございました。



国立研究開発法人
国立成育医療研究センター
臨床検査部

技師 加藤 輝

新潟地区交流会

～In 八海山泉ヴィレッジ～

7月11日(土)に新潟地区交流会が開催されました。

当初心配されていた台風の影響もなく、晴天に恵まれ、3施設から会員12名の皆様とお子様1名に参加して頂きました。

今回の担当施設はさいがた医療センターで、集合後、グループ対抗による釣り対決とバーベキューを行いました。

まずは11:30よりグループ対抗つり対決！！

3グループに分かれ、1グループ16匹までどれだけ早く釣るか競争しました。

1位のチームには豪華賞品プレゼント。

普段やらない方たちはそれぞれチームの釣りのプロ！？に教わりながら楽しみました。

優勝は・・・菅技師長、山田副技師長、南雲さん、津川さんチーム！早々に16匹釣り上げ豪華賞品を獲得しました。

釣った魚は自分たちでさばき、塩焼きにいただきました。身はとてもふっくらとしていておいしかったです。

親子みたいで楽しそうですね
～(^)～
みなさん子供をつれて遊びに来ては？

新潟地区の発展を祈願して……
Hop! Step!
Jump!!!



イカ焼き一丁あがり!!!

お肉だけでなく、ピザや
焼きそばもとてもおいしかったです(げふっ)。

釣りをして皆さんも腹ぺこ～。
13:00からは懇親会を、釣り場からすぐ近くにある
バーベキューエリアで行いました。

清々しい青空の中、
八海山の地ビールを片手
に喉を潤しながら、
お話に花を咲かせていたの
ではないでしょうか？



準備不足や不手際など多々あった
と思いますが、皆様のご協力もあり、晴
天の下無事開催することができました。
ありがとうございました。

(by さいがた一同)



今回、交流会で訪れた施設の紹介



八海山 泉ヴィレッジは、霊峰八海山のいただきに源を発し、なだらかな扇状地を伏流した清らかな水が湧きあがる「泉の里」に位置します。
地ビール生産工場棟のほか、窯焼きピッツアをメインとした魚沼発カジュアルイタリアンレストラン「タベルナゴッツォ」、できたてのビールや魚沼の土産物を販売する売店「ポルティコ」、天然酵母の薪窯パンを提供する「コネレテ」、その他フィッシングパークやガーデンなど、美味しい楽しいがいっぱいの食の複合施設です。
ご興味のある方、ぜひプライベートでも訪れてみてください！

八海山 泉ヴィレッジ

(Hakkaisan IZUMI VILLAGE)

住所：〒949-7114

新潟県南魚沼市泉564-1

TEL：025-775-3939

FAX：025-775-3739

営業時間：10:30-22:00

休館日：4月～11月無休／12月～3月木曜定休
1月～3月木曜定休



♥ちなみに結婚式も
行っているみたいです。
そろそろと思っているそこのあなた！！！！どうでしょうか？WWW

あの清酒「八海山」の会社が経営。地ビールも作っているなんて知らなかった……。



近くには八海山ロープウェイもあり、
気軽に頂上まで行くことができ、
夏は深緑、秋には色とりどりの紅葉
が楽しめます。



第56回日本臨床細胞学会総会(春期大会)in島根県

術前未確診肺腫瘍性病変に対する 術中迅速細胞診の成績と問題点

国立病院機構西新潟中央病院臨床検査科¹⁾、
国立病院機構西群馬病院臨床検査科²⁾、新潟大学大学院医学総合研究科
細胞機能講座分子細胞病理学分野(病理学第二講座)³⁾、
新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院病理診断科⁴⁾
○森田千穂(CT)¹⁾、川上喜久(CT)²⁾、長谷川剛(MD)³⁾、⁴⁾

2015年6月12日
(金)~14日(日)



はじめに

検診の普及と画像診断の進歩により末梢小型肺腫瘍の発見される機会が増加し、同時に術前確定診断の困難な症例が少なくない。

当院は結核をはじめとする呼吸器疾患患者が多い病院で常勤病理医のいない状況であるが臨床医、特に呼吸器外科医との協議に基づき以前より術前未確診の肺腫瘍に対して術中迅速細胞診を試みてきた。今回、術前未確診肺腫瘍に対する迅速細胞診と術後の病理診断とを比較検討した。

対象と方法

2010年4月~2014年11月までの約4年半で術前未確診肺腫瘍の術中迅速細胞診を実施した196例を対象とした。細胞診検体は穿刺細胞診および捺印細胞診が中心で専ら細胞検査士1人が担当した。また肺切除検体は固定の後、病理組織診断を新潟大学病理学教室に依頼した。

結果

	細胞診	組織診
Adeno ca.	118	123(うちBAC39)
SCC	39	37
Small cell ca.	4	4
組織学所見	Class V Adeno ca.6(うちBAC2)、 SCC1 Malign.判定困難1	悪性その他 9
	Class IV SCC1	
	Class III 10 別表2	
	Class II 16 別表3	
合計	196	良性その他 23 196

細胞診 Class III

腫瘍性	Adeno ca.(BAC)	3 (→うち2例を供覧)
	Adenoidcystic ca.(転移性)	1
	Sclerosing hemangioma	1
	MALToma	1
炎症性	肉芽腫形成疾患	2
	胸膜炎	1
その他	無気肺	1
合計		10

別表2

細胞診 Class II

腫瘍性	Amyloidoma	1
	Hamartoma	1
炎症性	TB	6
	肉芽腫形成疾患	2
	Aspergillus	1
	cryptococcosis	1
	胸膜炎(ANCA関連)	1
その他	線維化	1
	腫瘍性病変なし	2
合計		16

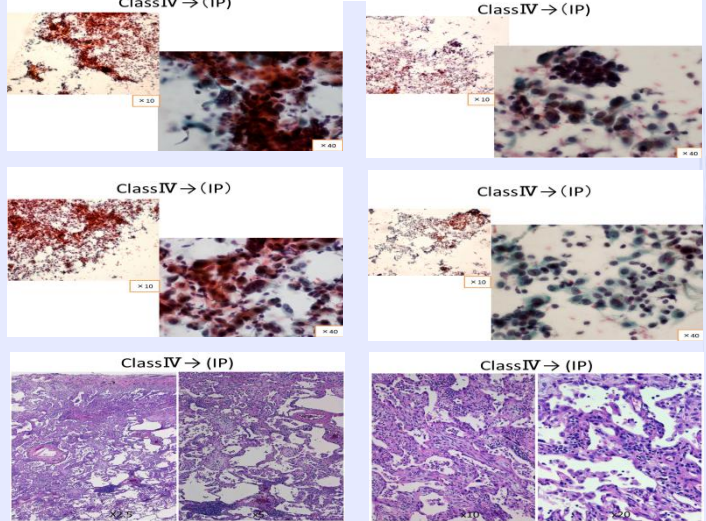
別表3

196例の内訳は、陽性170例、陰性16例、判定困難例10例。陽性例では腺癌118例(気管支肺胞上皮癌(BAC)35例)、扁平上皮癌39例、小細胞癌4例の他、複数の組織型を呈す肺がんも見られた。一方で偽陽性が1例あった。陰性例は結核および肉芽腫形成疾患が半数を占め真菌感染症や炎症巣(ANCA陽性)、過誤腫等が含まれた。判定困難例はBAC3例の他、転移性腺様嚢胞癌、MALToma、硬化性血管腫等の腫瘍性疾患が半数以上で肉芽腫性疾患2例、胸膜炎、無気肺等2例であった。

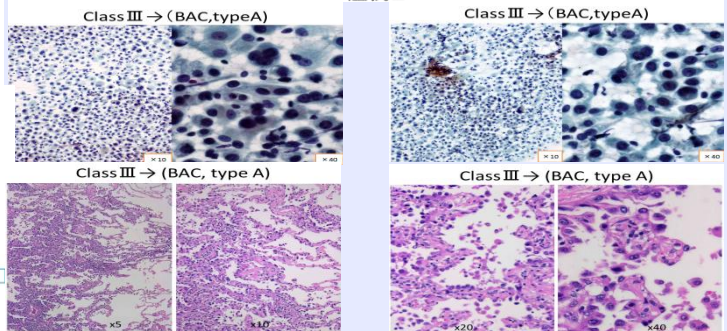
考察

偽陽性例とした症例は炎症性背景に結合性の乏しい腺系の異形細胞や核異型を伴う多核細胞が見られ腺癌を疑った。術前に間質性肺炎に肺癌の合併が疑われた症例で、術式は部分切除のみで大きな手術侵襲はなかった。判定困難例では細胞異形に乏しいBACでの部分切除が3例あったが、その他の病変も含め術式の変更は要さなかった。

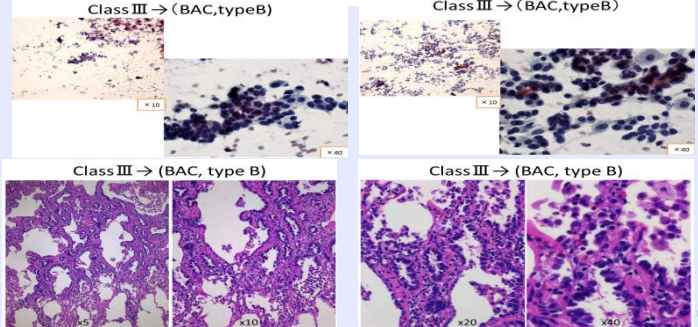
症例1



症例2



症例3



まとめ

偽陽性1例や判定困難例10例が生じたが大きな過誤は経験しなかった。しかしながら当院は常勤病理医が不在であり常に迅速組織診を行うことはできず、また限られた人員や時間での診断はリスクも高い。臨床との情報交換を密に、術前の十分な症例検討が必要と考える。



趣味のこーな

I Love fishing!!

さいがた医療センター 臨床検査科
島田 朋幸

私の趣味は、小学校から始めた釣りです。普段は主にブラックバスを釣っています。さいがたに来て師匠（現多摩全生園 中村副技師長）の影響もあり、海釣りも本格的に始めました。近くの直江津港内で大物を狙ったり、防波堤でのイカ釣りを楽しんでいます。今年はあまり行けていないので去年～今年までの釣果を書きます。



去年釣り上げた65cmのスズキ！すごく引きが強かったです。
お刺身とムニエルは絶品でした。



とある池で釣ったラージマウスバス。
体に1本の線が入るのが特徴



とても暑い日に釣れた
スモールマウスバス。ト
ラ柄が特徴



去年の秋に釣れたアオリイカ。
お刺身がすごくあまくてびっくりしました。

今年は海に行っては振られ続ける日々です・・・・・・
(T-T)
大物を釣り上げたいですね～
一緒に釣りしてくれる方を大募集
中です！！！！

新潟地区会 今後の予定

- ・9月12日 関信支部学会地区会ポスター展示
- ・10月初旬～中旬 第3回理事会(西新潟中央病院)
- ・10月頃 朱鷺っと 第75号発行
- ・10月24日 第35回新潟地区会定期総会・研修会
(担当:西新潟中央病院)



編集後記

会員の皆様、蒸し暑い日が続いていますが、体調を崩されてはいないでしょうか？

先日は交流会への多数のご参加、ありがとうございました。

さて、交流会が終われば、次は国臨協関信支部学会です。地区会ポスター今年こそは1位を獲得したいですね。会員の皆様からの多数のアイデアを、ぜひお待ちしております！(M.N)



新潟地区会事務局
NHO西新潟中央病院臨床検査科内
TEL:025-265-3171 (内線1134)